弾道ミサイル発射時の行動について

～爆風や破片などによる被害を避けるために～

「Jアラート」を活用したメッセージが流れたら

落ち着いて、直ちに行動してください

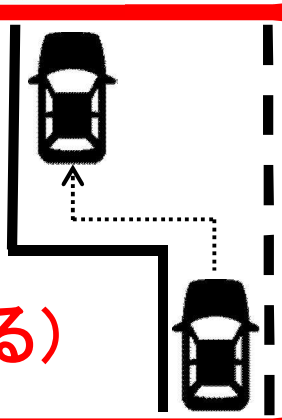
＜屋内にいる場合＞

できるだけ窓から離れるか
窓のない部屋に移動し
頭部を守る



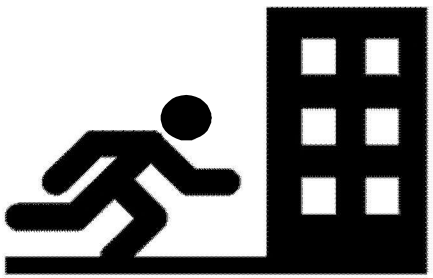
＜車に乗っている場合＞

車を安全な場所に止め
近くの建物に避難する
（または、車内で姿勢を低くする）



＜屋外にいる場合＞

速やかに近くの
建物（頑丈）
に避難する



＜屋外にいて、近くに建物がない場合＞

物陰に身を隠すか
地面に伏せて
頭部を守る

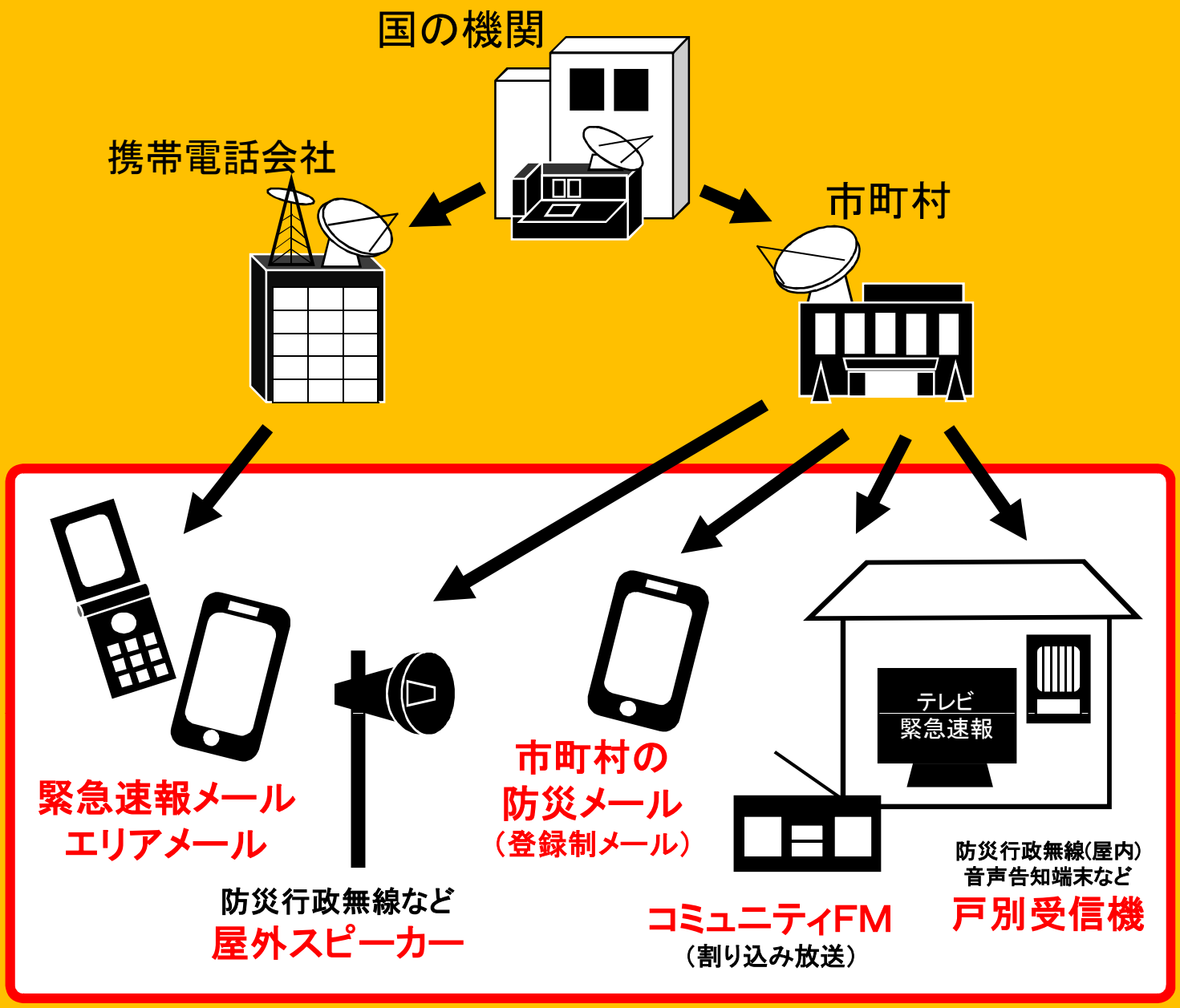


※詳細については、国民保護ポータルサイトをご覧ください

検索　国民保護

緊急情報の流れについて

北朝鮮から発射された弾道ミサイルが日本に落下する可能性がある場合、Ｊアラートを使用して、防災行政無線やコミュニティFMの割込み放送で特別なサイレン音とともにメッセージを流すほか、緊急速報メール等により緊急情報が流れます。



○　携帯電話、スマートフォンのほとんどが緊急速報メール、エリアメールを受信できますが、一部には受信できないものがあります。
お使いの機種が受信できるかどうかの確認方法と、受信できない場合等の対策として、消防庁が作成した資料を市のホームページにも掲載していますので、ご覧ください。

弾道ミサイル発射時のメッセージ

Ｊアラートを通じて流れるメッセージは、発射される弾道ミサイルの状況により以下の３つとなります。

ミサイル発射

弾道ミサイルが**日本に飛来する可能性があると判断**

ミサイル発射情報・避難の呼びかけ

第１報

「**ミサイル発射。ミサイル発射。**
北朝鮮からミサイルが発射された模様です。
建物の中、又は地下に避難して下さい。」

①日本に落下する可能性があると判断した場合

直ちに避難することの呼びかけ

第２報

「**直ちに避難。直ちに避難。**
直ちに建物の中、又は地下に避難して下さい。
ミサイルが落下する可能性があります。
直ちに避難して下さい。」

落下推定情報

第３報

「**ミサイル落下。ミサイル落下。**
ミサイルが●●地方に落下した可能性があります。
続報を伝達しますので、引き続き屋内に避難して下さい。」

②日本の上空を通過した場合

第２報

ミサイル通過情報

「**ミサイル通過。ミサイル通過。**
先程のミサイルは、●●地方から●●へ通過した模様です。
不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察や消防などに連絡して下さい。」

③日本の領域外の海域に落下した場合

第２報

落下推定情報

「先程のミサイルは、**●●海に落下した模様です。**
不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察や消防などに連絡して下さい。」

- ○ 状況に応じて送信するため、上記のメッセージを全て送信するとは限りません。
- ○ 上記のメッセージは、状況に応じ、変更する可能性があります。
- ○ 自衛隊によるミサイルの迎撃の状況等により情報伝達の流れが変わる可能性があります。

Q＆A

Q1. ミサイルは発射から何分くらいで日本に飛んでくるのでしょうか。

A1. 北朝鮮から弾道ミサイルが発射され、日本に飛来する場合、極めて短時間で日本に飛来することが予想されます。

例えば、平成29年9月15日に発射された弾道ミサイルは、約10分後に、北海道地方を通過後、襟裳岬の東約2，200kmの太平洋上に落下しています。

なお、●●海に落下したとの情報伝達があった場合は、引き続き避難をしていただく必要はありませんが、もし、不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、すぐに警察、消防や海上保安庁に連絡してください。

Q2. なぜ頑丈な建物や地下へ避難するのですか。

A2. ミサイル着弾時の爆風や破片などによる被害を避けるためには屋内（できれば頑丈な建物）や地下（地下歩道など）への避難が有効だからです。なお、県のホームページでは閉庁時であっても一時的に待避可能な県や市町村の施設を公表しています。

Q3. 建物内に避難してから気を付けることはありますか。

A3. 爆風で壊れた窓ガラスなどで被害を受けないよう、できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動してください。

Q4. 弾道ミサイルの情報が伝達されたとき、自動車の車内にいる場合はどうすればよいですか。

A4. 車を安全な場所に止めて、近くの建物（頑丈）に避難してください。周囲に避難できる建物がない場合、車から離れて地面に伏せ、頭部を守ってください。

高速道路を通行している時など、車から出ると危険な場合には、車を安全な場所に止め、車内で姿勢を低くして、行政からの指示があるまで待機してください。

Q5.「ミサイルが●●地方に落下した可能性がある」との情報伝達があった場合は、どうすれば良いのでしょうか。

A5. 続報を伝達します。行政からの指示があればそれに従って、落ち着いて行動してください。

もし、近くにミサイルが着弾した場合は、弾頭の種類に応じて被害の及ぶ範囲などが異なりますが、放射性物質や有毒性物質などから身を守るため、次のように行動してください。

- 屋外にいる場合は、口と鼻をハンカチで覆いながら、現場から直ちに離れ、密閉性の高い屋内の部屋または風上に避難してください。
- 屋内にいる場合は、換気扇を止め、窓を閉め、目張りをして室内を密閉してください。

喜 多 方 市

平成29年11月

～問い合わせ先～

喜多方市生活防災課

〒966-8601　喜多方市字御清水東7244番地2

電　　話　0241－24－5221